

平成21年度一般会計当初予算説明資料

6款 農林水産業費

4項 林業費

2目 林業振興費

森林保全課(内線:7416)→森林・林業総室

(単位:千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
とっとり環境の森づくり事業	217,143	207,039	10,104			(基金繰入金) 217,143		
トータルコスト	248,626千円 (前年度 244,489千円)							
従事する職員数	正職員:3.8人、非常勤職員:0.3人							
主な業務内容	事業周知説明、間伐等設計・発注・監督・検査、補助金交付事務等							
事業内容の説明								
<p><b>1 事業の概要</b> すべての県民が多くの恩恵を享受している森林の公益的機能を持続的かつ高度に発揮させるため、森林環境保全税を活用し、森林環境の保全を進めるとともに、森林をすべての県民で守り育てる意識の醸成を図る。</p>								
<p><b>2 事業内容</b> 現行事業に加え、竹林の循環利用型皆伐にも拡大 (単位:千円)</p>								
区 分	事 業 内 容		事業主体	予算額	補助率			
とっとり環境の森緊急整備事業	針広混交林化による森林の機能回復 ・人工林に下層植生の自然発生を促す間伐等		県	45,142	—			
とっとり県民参加の森づくり推進事業	森林林業体験企画・実施を支援 ・森林教室、源流探訪、間伐等の作業体験等 【採択要件】 1企画 20万円以上 (小中学校は10万円以上)		森林ボランティア団体等	15,000	10/10			
森林環境保全税関連事業評価委員会	税の使いみちを県民に明らかにし、透明性を図るため、評価委員会で事業の調査、審査、検証等を実施		県	724	—			
保安林の保全・整備	保安林の間伐	保安林の間伐を支援 ※所有者負担を1割に軽減 造林事業(森林保全課)を活用	森林所有者等	111,297	9/10 (うち造林事業 6.8/10)			
	作業道整備	作業道の整備を支援 ※所有者負担を1割に軽減 造林事業(森林保全課)及び森づくり作業道整備事業(林政課)を活用	市町村、森林所有者等		9/10 (うち造林事業 6.8/10 うち森づくり作業道整備事業 5・6.5/10)			
竹林対策	竹林の拡大防止・適正管理 ・竹林の伐採・植林、森林への侵入竹の駆除を支援 ※所有者負担を1割に軽減 造林事業(森林保全課)を活用		市町村、森林所有者等	39,946	9/10 (うち造林事業 6.8/10)			
	・放置竹林の抜き伐り及び循環利用型の皆伐を支援				9/10			
制度の普及啓発	税の仕組み、使途事業などの県民周知(各種広報、森林環境フォーラム・竹林フォーラムの開催など)を行う。		県	5,034	—			
合 計				217,143				

※H21税収見込み179,380千円 + H20基金繰越37,763千円 = 217,143千円  
 ( 森林環境保全税 ○税率 個人 500円 法人 5% )  
 ( ○適用期間 5年(平成20~24年度) )